

1

漢字の組み立て

教科書
上22
ページ 23

○あて
めく。漢字を組み立てている部分は漢字の意味と
関係があることが分かり、漢字を正しく書

2

1 次の漢字を組み立てている部分の名前を（ ）に書いて、その部分が
もつ意味を から選んで記号を に書き入れましょう

① 海・池・泳	へん	(さんずい)	エ
② 頭・顔	つくり	(おおがい)	イ
③ 算・笛・箱	かんむり	(たけかんむり)	ア
④ 点・照・熱	あし	(れんが・れっか)	ウ
⑤ 遠・進・道	によう	(しんによう・しんにゆう)	カ
⑥ 園・国・図	かまえ	(くにがまえ)	オ

ア 竹に関係がある。
イ かおに関係がある。
ウ 火に関係がある。

エ 水に関係がある。
オ かこむことに関係がある。
カ すすむことに関係がある。

2

①⑤の部分を に書きましょう。 また、その部分をもつ漢字を二つずつ
（ ）に書きましょう。

〔例〕 まだれ 〔広〕 〔庫〕

① ごんべん	言	〔話・記〕	計・読	④ こころ	心	〔意・悪〕	感・急
② きへん	木	〔校・相〕	板・橋	⑤ もんがまえ	門	〔間・聞〕	開・問
③ うかんむり	宀	〔室・安〕	客・守				

3 次の漢字は何に関係があるなから選んで書き入れましょう。

- ① 花・草・葉 (植物) () に関係がある。
- ② 休・住・体 (人) () に関係がある。
- ③ 打・持・指 (手) () に関係がある。
- ④ 家・客・宿 (家) () に関係がある。

1 次の漢字の部首を□に、部首の画数を（ ）に書き、意味を漢字辞典の「部首さくいん」を使って調べましょう。

〔例〕 登 **夂** （五）画

〔意味〕

- ①のぼる。高いところへ上がる。 ②たかい地位につく。
③でかける。ある場所にあらわれる。 ④かきこむ。公式の書類にかきしるす。

① 類

頁

（九）画

〔意味〕

- ①なかま、似たものの集まり。たぐい。
②似ている。

② 努

力

（二）画

〔意味〕

つとめる。一生懸命につくす。

2

次の漢字の画数を（ ）に書き、読み方と意味、例文を漢字辞典の「総画さくいん」を使って調べましょう。

〔例〕 世 （五）画 （読み方）

セイセよ

〔意味・例文〕

- ①よのなか。 ②時代。 ③人の一代。
例文 世紀の祭典。

① 達 （十二）画 （読み方）

タツ

〔意味・例文〕

たつする。すぐれている。

〔例文〕 本を配達する。

② 象 （十二）画 （読み方）

ゾウ シヨウ

〔意味・例文〕

- ①ぞう。 ②目に見える姿。あらわれたかたち。
③かたどる。似せてかたちにする。

〔例文〕 ハトは平和の象ちようだ。

1 次の「たてる」「なる」は、どのような意味ですか。 から

たてる
① ひざをたてる。
② 予定をたてる。
③ 家をたてる。
④ はらをたてる。

なる
⑤ 梅の実がなる。
⑥ 電話がなる。
⑦ 水が湯になる。
⑧ 先生がお帰りになる。

ア いかりを感じる。
イ まっすぐに置く。
ウ 建物をつくる。
エ 決める。

ア 今までとはちがった
じょうたいに変わる。
イ 音が出る。
ウ 小さなさる
エ 形のある物がでる。

2 文の中で使われている の言葉の意味をア～ウの中から選んで、
○をつけましょう。

① 友達にプレゼントをあげる。
ア() 高いところへうつす。
イ() ていどを高める。
ウ(○) あたえる。

③ まどをしめる。
ア(○) すきまのないようにする。
イ() しつけをおびる。
ウ() ゆるみをなくす。

② 日直が、机の上をひく。
ア() 息を勢よく出す。
イ(○) こすってよこれをとる。
ウ() 風が動いて通る。

④ 注目されてあがった。
ア() 高いところにつる。
イ(○) のぼせて落ち着きをうしなう。
ウ() 出る。

3 次の に入る言葉を考えて書き入れましょう。

〔例〕 ひく
ピアノを ひく。
かぜを ひく。
くじを ひく。

① とる
めがねを とる。
よい席を とる。
写真を とる。

② あける
夜が ドアを あける。
水が あける。
あける。

4 「かく」という言葉には、次の三つの意味があります。それぞれの意味の「かく」を使って、文を作りましょう。

① 文章を作る。

(省略)

② つめなどでひふをこする。

(省略)

③ おしのける。

(省略)

1 次の文では、それぞれ、どちらの漢字を使うのが正しいですか。

から選んで（ ）に書き入れましょう。

① 画用紙を（切る）。

・洋服を（着る）。

② 地球は（丸い）。

・（円い）形をした皿。

③ 国語（辞典）を使って、言葉の意味を調べる。

・百科（事典）で、魚の写真を見る。

④ 宿題が思ったより（早く）終わった。

・計算問題を解くのが（速く）で、すぐに宿題が終わった。

⑤ 友達と意見がぶつたりと（合う）。

・友達と電車の中で（会う）。

⑥ えんぴつ（以外）は使ってはいけない。

・ボールが（意外）に安くなっていた。

⑦ 友達の勇気がある行動に（感心）した。

・ぼくは、自然科学に（関心）がある。

切る 着る

丸い 円い

辞典 事典

早く 速く

合う 会う

意外 以外

関心 感心

2 次の言葉を使って、文を作りましょう。

① 空ける

（省略）

開ける

（省略）

明ける

（省略）

② 立つ

（省略）

建つ

（省略）

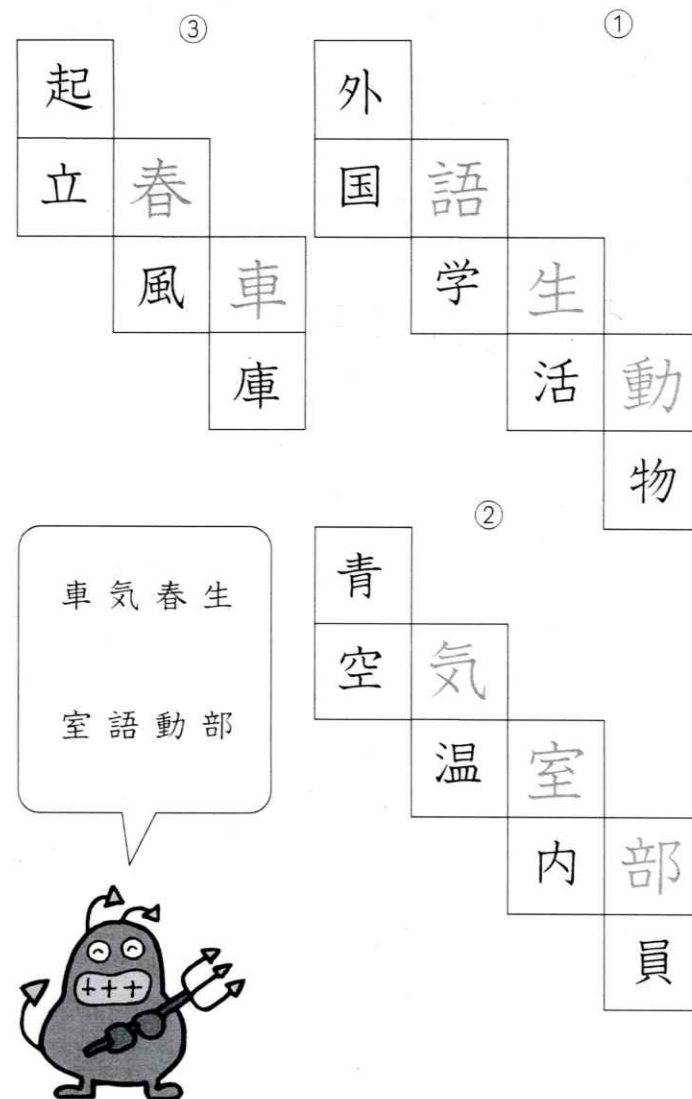
③ 熱い

（省略）

暑い

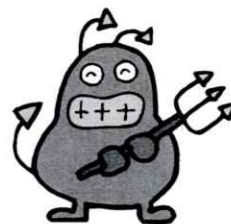
（省略）

1 二字の熟語のしりとりになるように、空いている□にあてはまる漢字を吹き出しの中から選んで書きましよう。(同じ漢字でも、読み方がちがうことがあります。)



車 氣 春 生

室語動部



2 スタートからゴールまで、二字の熟語を作り、線を引きながら進みましょう。



積	業	卒	要	果	辞	花
巢	賞	題	話	手	学	見
箱	金	名	議	歌	校	新
岸	給	前	半	熱	建	夫
辺	長	成	分	帶	案	司
日	期	達	配	席	内	会
時	立	区	力	努	事	食

スタート

ゴール



1 次の文の意味を考えて、〃の中から一番合う言葉に○をつけましょう。

① ぼうしの中から、
ぎらっと
ふわっと
さらっと
ちようが飛び出した。

② 小さい子が、ぼくのことを
ひらひらと
しくしくと
じろじろと
見ながら通り過ぎた。

③ 林さんは、ぼくの前を
ぬるぬる
みるみる
するする
かけぬけていった。

2 様子を表す言葉を使って、文を作りましょう。

① ちよこんと

(省略)

② ぐいぐい

(省略)

3 次の文の意味を考えて、上と下を線で結びましょう。

① 明日は遠足なので、

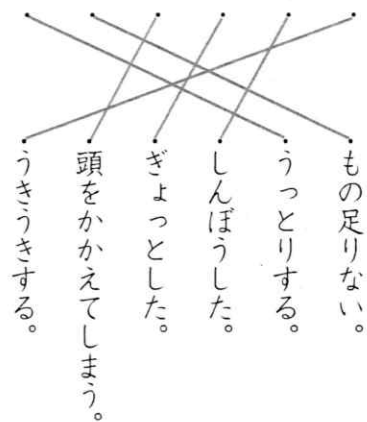
② さか立ちは苦しいが、

③ 友達にとつぜんうでをつかまれ、

④ 母に怒られると思うと、

⑤ 今日のテストは簡単すぎて、

⑥ 富士山の美しさに、思わず



4 気持ちを表す言葉を使って、文を作りましょう。

① しぶしぶ

(省略)

② すつきりする

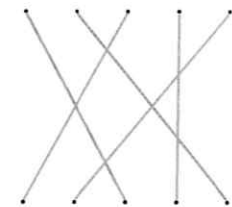
(省略)

1 次の、体に関係がある慣用句の意味を、下から選んで線でつなぎましょう。

【慣用句】

【意味】

- ① 骨を折る
② 腕が立つ
③ 肩をもつ
④ 鼻が高い
⑤ 白い歯を見せる



- とく意になる様子。
技術がすぐれている。
うれしくて笑顔を見せる。
苦勞して物事をする。
味方をする。

2 次の（ ）に入る動物を から選んで書き入れましょう。

【慣用句】

【意味】

- ① (ねこ)の手も借りた……いそがしくて、だれでもよいので手伝って欲しい。
② 蛇(はち)取らず……両方ねらって、どちらもだめになる。
③ (馬)が合う……相手と気持ちが合う。
④ (虫)がいい……自分の都合ばかり考え、身勝手なこと。

蜂 虫 馬 ねこ

3 次の□にあてはまる慣用句を□から選んで書き入れましょう。

① この坂道を登るのは、息が切れる。

② 友達のけんかに首をつっこむ。

③ あと一歩で優勝だったところ、なみだを飲む。

④ あごが外れる。ほど 笑い転げる。

首をつっこむ あごが外れる 息が切れる なみだを飲む

4 次の慣用句を入れて、短い文を作りましょう。

【例】世話を焼く

一年生の教室で、六年生が、朝の用意の世話を焼いている。

① 心をこめる

(省略)

② つるのひと声

(省略)

1 次の文で、つなぎ言葉が正しく使われているものに○をつけましょう。

- ① () 雨が降っていた。しかし、かきを持ってでかけた。
- ② () 早起きをした。しかし、のんびりしていて遅刻をしてしまった。
- ③ () 明日は弟のたん生日だ。しかし、プレゼントを買った。
- ④ () 足をねんざしてしまった。しかし、体育を見学した。
- ⑤ () 野球の試合を見に行った。しかし、大好きな選手は試合に出ていなかった。

2 次の文の()に合うつなぎ言葉を から選んで書きましょう。

- ① みんなで協力してそうじをした。(だから)早く終わった。
- ② ピアノを習っている。(また)、水泳も習っている。
- ③ 漢字テストに向けて毎日練習をした。(しかし)、百点は取れなかった。
- ④ ねぼうした。(なぜなら)、前の日におそくまで起きていたからだ。
- ⑤ 牛にゆうを飲みますか。(それとも)、ココアを飲みますか。
- ⑥ 持ち物の話は、ここまでになります。(さて)、明日の最初の見学場所を覚えていきますか。

それとも また しかし だから さて なぜなら

3

— のつなぎ言葉に気をつけて、()に合う言葉を から選んで書きましょう。

- ① 雨が降ってきた。けれども、試合を(続けた)。
- ② この映画はスリルがある。それに、感動も(ある)。
- ③ 午前中に大雨が降った。それで、水たまりが(できた)。
- ④ 今日からしばらく屋上では遊べません。なぜなら、
屋上の工事が(始まった)からです。

4 次の二つの文を、〔例〕のように一つの文に続けて書きましょう。

〔例〕待ち合わせ場所に行った。でも、だれも来ていなかった。

↓待ち合わせ場所に行ったが、だれも来ていなかった。

① お腹がいたかった。それで、薬を飲んで早くねた。

お腹がいたかった(から)ので、薬を飲んで早くねた。

② わたしは全力で走った。しかし、二位だった。

わたしは全力で走った(が)、二位だった。

1 にた意味をもつ漢字を組み合わせて熟語を作りましょう。また、その読みを書きましょう。

① 救う・助ける

↓ 救助

「きゅうじょ」

③ 願う・望む

↓ 願望

「がんぼう」

② 回る・転がる

↓ 回転

「かいてん」

④ 連なる・続く

↓ 連続

「れんぞく」

2

の中から、反対の意味をもつ漢字どうしを見つけ、それらを組み合わせた二字の熟語を作りましょう。

① 高低

② 強弱

③ 長短

④ 遠近

⑤ 売買

⑥ 内外

⑦ 大小

⑧ 明暗

低 外 暗 短 売 近 遠 小 内 明 高 強 大 買 長 弱

3

下の漢字を修飾する役割をもつ漢字を から見つけて熟語を作りましょう。(同じ漢字は一回しか使えません。)

① 目薬

② 家路

③ 木箱

④ 雨雲

⑤ 近道

⑥ 島国

⑦ 鉄橋

⑧ 農家

雨 島 近 目 農 鉄 家 木

4

次の文の意味をよく考え、□に「不」「未」「無」のどれかを入れましょう。

① おもちゃを買ってもらえず、弟は □ 不満 そうな顔をした。

② 映画館で、係の人が □ 無言 でうなずいた。

③ □ 未来 は、電気自動車がたくさん走っているにちがいない。

④ この農薬は、人には □ 無害 である。

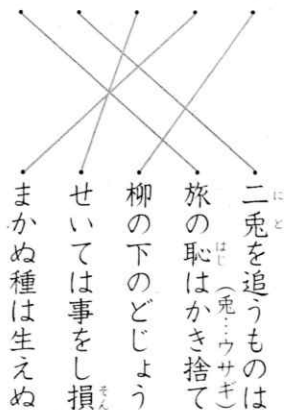
⑤ 勉強をしていないので、明日のテストが □ 不安 だ。

1 次のことわざは、昔から伝わる天気に関するものです。()に「晴れ」か「雨」かを書き入れましょう。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 朝焼けは (雨) | ⑥ ツバメが高く飛ぶと (晴れ) |
| ② 猫が顔を洗うと (雨) | ⑦ ツバメが低く飛ぶと (雨) |
| ③ 遠くの高い山が見えれば (晴れ) | ⑧ 朝霧は (晴れ) |
| ④ アリの行列を見たら (雨) | ⑨ 遠くの音が聞こえやすいと (雨) |
| ⑤ タ焼けは (晴れ) | ⑩ 羽アリが多いと (雨) が近い |

2 反対の意味のことわざを線で結びましょう。

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 二度あることは三度ある | ⑥ 二兎を追うものは一兎を得ず |
| ② 果報は寝て待て | ⑦ 旅の恥はかき捨て |
| ③ 善は急げ | ⑧ 柳の下のだじよう |
| ④ 一石二鳥 | ⑨ せいては事をし損じる |
| ⑤ 立つ鳥後をにごさず | ⑩ まかぬ種は生えぬ |



3 次のことわざと同じ意味のことわざを () に書き、その意味を調べましょう。

- ① 猿も木から落ちる (ウ)

意味

どんなにその道にすぐれていても時には失敗をすることがある。

- ② 石橋をたたいてわたる (ア)

意味

用心を重ねて慎重に物事を行うこと。

- ③ 目から鼻へ抜ける (エ)

意味

とても理解が早いこと。

- ④ 馬の耳に念仏 (イ)

意味

どんなに注意や意見をしてても効果のないこと。

ア 念には念を入れよ
ウ 河童の川流れ

イ 猫に小判
エ 一を聞いて十を知る